

科目ナンバリング		U-LAS25 20001 SJ48										
授業科目名 <英訳>		イタリア語ⅡA I2102 Italian IIA					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 准教授 霜田 洋祐			
群	外国語科目群				分野(分類)						使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	金3			配当学年	2回生以上		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
この授業では、初級文法を学習し終えた学生を対象として、イタリア語の講読を行う。様々なジャンルのイタリア語テキストを編んだ講読用教科書を読みながら、イタリアの文学・文化・歴史等に触れ、イタリア語を読解するための技術を学ぶ。必要に応じて文法事項も細かく確認する。辞書を頼りに、自力でイタリア語の文章を理解できるようになることを目指している。												
＊昨年度のイタリア語I（4Hコース）を受講した者、あるいはそれと同レベルの学習を行った者を対象とする授業です。イタリア語文法を学び終えていない者は、自分で文法を学ぶことが履修の条件となります。												
[到達目標]												
辞書の正しい引き方を覚え、文法についての知識と理解を深め、それらを頼りに自力でイタリア語の文章を理解できるようになる。 イタリア語の文章を正しい発音で読むことができる。 イタリアの文学、歴史、社会等にかんする知識を得る。												
[授業計画と内容]												
教科書の各テキストには星1つから3つまでの難易度の評価がついているので、試しに星1つのテキストを読み、徐々にレベルを上げていく。前から順には読まない。												
第1回：授業の内容の説明をした後、最初のテキスト（「女性と家族の絆 Donna e famiglia」）の読解をはじめる。												
第2-14回：1-2回の授業で1つのテキストを読み終わる予定で進む。テキストの選択・順番は、参加者の様子を見ながら判断し、指示する。												
《期末試験》												
第15回：フィードバック（答案を返却して講評を行い、夏休みに読んで読解力の向上に役立つテキストの紹介などを行う）。												
[履修要件]												
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。												
[成績評価の方法・観点]												
授業への参加を重要視し、成績は、平常点50%と定期試験（筆記）50%の配分で評価する。平常点は、予習（テキストの読解や文法解釈）の取り組みや発音などをチェックするので、必ず予習をし、できれば教科書付録の朗読音源を聞いてくること。 成績評価基準は、授業中にさらに詳しく説明する。												
----- イタリア語ⅡA I2102(2)へ続く↓↓↓												

イタリア語II A I2102(2)

[教科書]

東京大学イタリア語教材編集委員会編 『PIAZZA [Text+CD]』（東京大学出版会）ISBN:4130821172

[参考書等]

（参考書）

『伊和中辞典』（小学館）

辞書は必須。『フリーモ伊和辞典』（白水社）を購入済みの場合はそちらでも構わない。

[授業外学修（予習・復習）等]

辞書で語彙を調べ、指定された箇所を読んでくること。その場ですぐに和訳できればよく、きれいな「訳文」を用意する必要はない（用意しないほうがよい）。

どうしてもわからない文もあると思うが、その場合は意味不明な訳をつけて投げ出すのではなく、1年次の教科書・プリント等も参照しながら、何がどのようにわからないのか説明（主語が不明、動詞が見つからない、など）できる程度までは考え抜いてほしい。

また、教科書付録の朗読音源を聞き、音読の練習もした上で授業に臨むのが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

オフィスアワーは金曜2限です（事前に連絡してもらえると確実です）。気軽に相談に来てください。

ただ、授業内容に関する質問はなるべく授業中に受けたいと思います。遠慮なく積極的に質問してください。